

パネル展＆写真展 「アフリカの飢餓とWFP食糧援助」

今、アフリカでは 4 秒に1人 子どもが死んでいます

4000万人(横浜市人口の11倍)の人々が、「食べ物がない」ために死に直面しています。飢餓と戦うWFPの活動にご協力ください



AP/Marcelo Hernandez (Angola/2003)

2003年 8月 20日(水) 10時～20時

新都市プラザ(横浜駅東口そごう地下2階正面入口前)

主催：国連世界食糧計画(WFP)日本事務所・国連WFP協会・WFP応援団

後援：横浜市

今もなお、アフリカ大陸の多くの国で 「食べ物がない」という理由で 人々が、死に瀕しているのをご存知ですか？

今、横浜市人口は約 352 万人です。実にこの 11 倍以上の人々、4000 万人が、飢餓に苦しみ、死を目前にしています。中でも子どもへのダメージは大きく、3.5 秒に 1 人、5 歳未満の子どもが死んでいきます。この人たちは、自分たちだけでは解決のつかない大きな流れの中に巻き込まれ、緊急の援助を必要としています。



WFP 国連世界食糧計画は、飢餓に苦しんでいる人々に、援助食糧を届け、子どもたちの未来を作るために活動しています。大切な仕事をし、国連の中でも大きな組織でありながら、日本での知名度は決して大きくありません。アフリカの現状を皆様にお知らせするとともに、WFP の活動を知っていただき、日本からの援助が大きくなる事を願っています。

写真とパネル展示

1. アフリカの飢餓
2. WFP 食糧援助の現場
3. 戦禍の果てに
アンゴラの子ども達

夏休みWFP学習コーナー

1. ビデオ上映
2. 紙芝居
3. WFP クイズ
4. 関係図書展示

展示：朝日新聞社の報道カメラマン小林裕幸氏のご好意により提供していただいた写真と、WFP の広報官が現場で撮影した写真とによって構成しました。



国連世界食糧計画 WFP
国連世界食糧計画（WFP）は飢餓撲滅を目的とした国連最大の食糧援助機関であり、最大の人道援助機関です。1961 年国連総会で設立され、イタリアのローマを本部としています。2002 年には 82 力国で 7,200 万人に食糧援助を行いました。1996 年、横浜市の誘致により横浜西区みなとみらい地区に日本事務所が開設され、WFP ローマ本部と日本政府の間の連絡業務、WFP の広報活動、および国連WFP協会の運営を実施しています。<http://www.wfp.or.jp/>

国連WFP協会

1999 年 1 月に WFP の活動を支援する目的で設立され、2001 年 10 月に特定非営利活動法人（NPO）となりました。国内において WFP の広報・募金活動を担当する他、学校への出張講座や年 4 回発行の「食糧援助ニュースレター」を通じて、WFP の活動内容を紹介しています。

<http://www.jawfp.org/>

WFP応援団

WFP の食糧援助活動を支援するボランティア団体として、1997 年に誕生しました。イベント会場で WFP の活動を紹介したり、講演会や写真展、チャリティコンサートを開催、WFP グッズの販売、募金活動などをしています。会報「ペガサス通信」を年に 4 回発行して、WFP と応援団の活動を広報しています。

<http://www.jawfp.org/oendan/>

連絡先：国連WFP協会 045-221-2515